



いま
現在の私の頑張りが
未来の誰かを救うから

予約制 無料送迎あり

OPEN CAMPUS オープンキャンパス情報

5.17
SAT

6.14
SAT

7.26
SAT

8.16
SAT

2026
3.21
SAT

病院見学ツアー 2025年 6月&7月&8月 病院の内側をツアースタイルでご案内いたします。

バス ※乗降りするバス停は「南板良敷」になります。

●那覇/バスターミナル▶沖縄リハビリテーション福祉学院(バス停/南板良敷)まで
41番:(つきしろの町線)----- 沖縄/バス
39番:(百名線)----- 沖縄/バス
37番:(新開線)----- 東陽/バス
38番:(志喜屋線)----- 東陽/バス

所要時間/約40分
料 金/500円

●糸満/バスターミナル▶沖縄リハビリテーション福祉学院(バス停/南板良敷)まで
36番:(糸満・新里線)----- 沖縄/バス

所要時間/約45分
料 金/650円

●浦添(城間)▶沖縄リハビリテーション福祉学院(バス停/南板良敷)まで

91・191番:(城間線)----- 東陽/バス

所要時間/約60分
料 金/590円

タクシー

●那覇空港▶沖縄リハビリテーション福祉学院まで

所要時間/約30分
料 金/約3100円

駐車場
約**500**
台以上
完備



医療法人 おもと会
沖縄リハビリテーション福祉学院

〒901-1393 沖縄県 与那原町 字板良敷 1380-1

098-946-1000
www.omoto-okiriha.ac.jp

OKINAWA COLLEGE OF REHABILITATION AND WELFARE

理学療法学科

作業療法学科

言語聴覚学科

介護福祉学科



いま
現在の私の
頑張りが
未来の誰かを
救うから

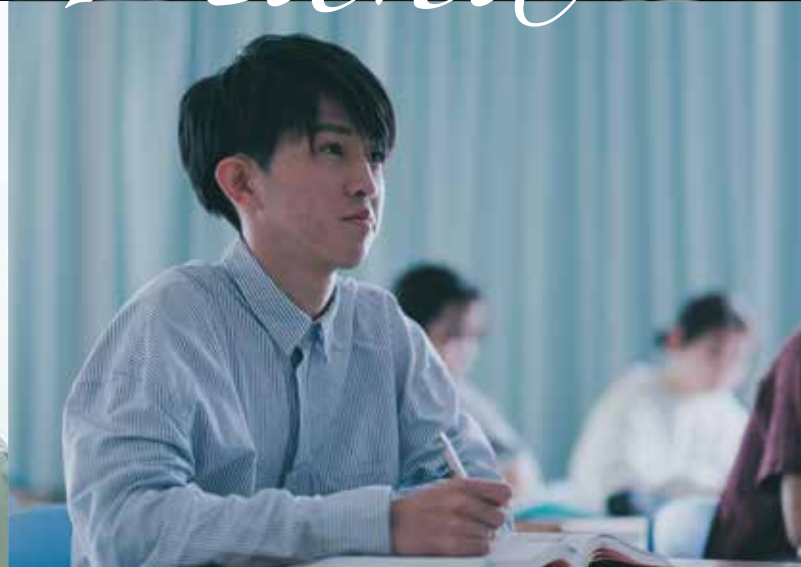
2026
SCHOOL
GUIDE



医療法人 おもと会
沖縄リハビリテーション福祉学院
Since 1990



Only you can control your future.



優しさが力になる

「将来の夢は何ですか?」と聞かれると、
子どもの頃はすぐに答えられた。
誰かの役に立ちたいけど、何が向いているのだろう。
痛そう、辛そう、そんな人たちの助けになりたい。私にできることってあるのかな?
大事なものはその気持ち。現在の私の頑張り^{いま}が、未来の誰かを救うから。



HISTORY

1990 → 2025

1990



沖縄リハビリテーション学院が理学療法士養成施設（理学療法学科定員 20 名）として厚生大臣の指定を受ける。



第 1 期 入学式



第 1 期 入学生

EVENTS



校歌

1991

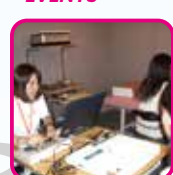


専修学校として沖縄県知事より認可される。沖縄医療福祉技術専門学院が介護福祉士養成施設（介護福祉学科定員 40 名）として厚生大臣の指定を受ける。



入学式

EVENTS



オープンキャンパス

1992



第 1 回 卒業式

- ・理学療法学科定員変更の申請が厚生大臣より承認される。
- ・沖縄リハビリテーション学院、沖縄医療福祉技術専門学院が統合され、名称を沖縄リハビリテーション福祉学院に改称。設置学科を理学療法学科、介護福祉学科とする。

沖縄看護専門学校開設に伴い校舎増築。

EVENTS



学園祭イイサー

EVENTS



就職説明会

EVENTS



見学実習

1995



2 号館完成

1993

作業療法士養成施設（作業療法学科定員 30 名）として厚生大臣の指定を受ける。

EVENTS



入学試験

2003

理学療法士養成施設（夜間部 40 名）、作業療法士養成施設（夜間部 30 名）として厚生労働大臣の指定を受ける。

2005



3 号館完成。言語聴覚士養成施設（言語聴覚学科定員 30 名）として厚生労働大臣の指定を受ける。



EVENTS



就職説明会

EVENTS



パッチアダムス特別講演

EVENTS



国家試験対策特別講義

EVENTS



植樹祭

2020

沖縄リハビリテーション福祉学院の 4 学科、沖縄看護専門学校の 1 学科を含む本館・2 号館・3 号館。



- ・理学療法士養成施設（夜間部定員 40 名）作業療法士養成施設（夜間部定員 30 名）の学生募集停止届を沖縄県知事へ提出

2021

・理学療法学科定員変更（昼間部定員 60 名）の申請が沖縄県知事より承認される



- ・理学療法学科昼間部・作業療法学科昼間部・言語聴覚学科・介護福祉学科 文部科学大臣職業実践専門課程認定

GREETING

現在、日本は国際的に高く評価される医療制度により、平均寿命は世界トップを維持し続け、先進諸国の中でも少子・高齢化社会が進んでいます。そうした状況で寝たきりでない健康寿命の促進が強く求められてきております。医療・福祉の現場では高度化、複雑化し、多くの職種の人達による連携が求められ、そのなかで理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護福祉士の活躍が一層期待されております。沖縄県において、いち早く、これら職種の育成を担ってきたのが、本学院、沖縄リハビリテーション福祉学院です。経験豊富な講師陣による熱意を持ったサポート体制を有し、学生それぞれの夢の実現に必要な専門知識や技能を修得させます。また、上記4つの学科を有する強みを活かして学科の枠を超えた「チーム医療教育」を実践しており、学生の時から異職種連携を体験できるとともに、母体のおもと会グループでの豊富な施設での実習で、より即戦的な実践力を養うことができます。将来、どの職種においても、障害を克服し尊厳を持って生きようとする人達を支援できる自分を思い描いて、是非本学院の門を叩いて、一緒に学んでいきましょう。



医療法人 おもと会
沖縄リハビリテーション福祉学院
学院長 吉見 直己
Naoki Yoshimi

私も「おもと会」が、医療法人おもと会沖縄リハビリテーション福祉学院を設立し、35 年を迎えることとなりました。今日までの、関係者各位の温かいご指導とご援助に、深く感謝申し上げます。「教育は人なり」といいます。本学の優秀な専任教員に加え、琉球大学をはじめ各分野の専門家を講師にお迎えしています。開設以来、国家試験合格率は各学科とも全国平均合格率以上の成績を残し、県内外の医療福祉の現場に多くの人材を提供してきました。さらに、日進月歩の医学・医療及び医療・福祉の知識と技術を習得し、地域社会に貢献する人材を育成します。希望と情熱を秘めた若人の入学を、心から期待しております。



医療法人 おもと会
沖縄リハビリテーション福祉学院
理事長 石井 和博
Kazuhiro Ishii

School philosophy & policy

教育理念

「真・善・美」の全人教育を基盤として、「生命の尊さ」への深い理解と「人間愛」を育み、豊かな知性、感性、強い意志のある人間を形成し、専門職業人としての誇りと向上心を培う。「知行合一」の精神で現代社会や保健・医療・福祉をめぐる環境の変化に対応し、社会に貢献できる有能な人材を育成する。

教育方針

啐啄同時 そつたかどうかじ

ヒナが卵の殻を内側からコツコツと叩くことを「啐」（そつ）と言います。同時に、親鳥が卵の殻を外側からつつき、殻を破ることを「啄」（たく）と言います。本学では、学生の学びのタイミングを逃さない丁寧な教育実践に取り組みます。

校訓 真・善・美

真・・・真実を探究し、学問を追求すること。
善・・・善人を目指し、善悪を判断する心を養うこと。
美・・・一輪の花に美しさを思う心の美しい感受性豊かな人になること。

本学では、全教職員が伝統と誇りをもって真善美の全人教育に取り組みます。

知行合一 ちこうごういつ

たとえたくさんの知識があっても、行動しなければ、真にその素晴らしさに気づくことはできません。本学では、医療と福祉の人材に必要な知識や技術の習得だけでなく、自ら考え理解し、行動することで社会に貢献できる人材を育成します。

教育の特徴

専門知識「確かな技術」を裏付ける「専門知識」

修士、博士の学位に加え

様々な分野で認定資格取得した教員が丁寧に指導。

医療、保健・福祉の現場は日進月歩。常に新しい知識や技術の更新が必要になります。一方で確かな基礎知識も必要です。専門学校でありながら、本学の教員の多くが修士、博士の学位を取得し質の高い専門教育に加え、学生の卒業研究の指導にもあたっています。啐啄同時・知行合一の精神で、学生の「学びへの関心が高まる」その機会を逃さず補習や学習支援、個別の面談を行い、確かな知識の習得を目指すとともに、自ら考え、自ら学び自ら行動するための教育を実践しています。



チーム医療 多職種連携教育合同ワークショップ

多様な職種との連携（チーム医療）が求められる医療現場を
模擬体験する他学科合同のワークショップの導入。

本学では、医療系総合専門学校ならではの環境を活かし、学科の枠を超えた「チーム医療教育」を実現しています。4つの専門職種を目指す学生が、他の医療専門職への理解を深め、臨床現場に必要なチーム医療を体験するワークショップを4学科合同で取り組んでいます。

※チーム医療について
かつては患者さんへの医療ケアの内容を主治医が診察し、各専門職に指示するシステムが一般的でした。しかし、医療の進展による高度化・複雑化に伴い、患者さんの多様な問題に対処できる医療の提供が必要となってきました。そこで、多職種が関わり情報を共有し、連携を図りながら協力することで、多方面から専門的なアプローチができる「チーム医療」が必要とされています。



臨床力「臨床力」＝「知識」×「実践」

医療、介護の現場では教科書は参考書にすぎません。

さまざまな疾病や障がいに対応できる専門技術がそこには必要です。

リハビリテーションは、心とからだ、そして人の暮らしのすべてに関わります。呼吸循環器疾患や運動器疾患、義肢装具や地域リハビリテーション、精神保健分野や芸術、日常生活用具や補助具演習など、各教員の専門性を活かしたカリキュラムが実践されています。また、介護福祉学科では臨床に導入が進んでいる ICT を活用した介護機器や介護ロボットに関する講義・演習、作業療法学科では、学生と患者がコラボレーションした作品展などを通し、臨床力を高める教育の実践に取り組んでいます。さらに、理学療法学科と作業療法学科では、総合臨床実習前後に OSCE（オスキー：客観的臨床能力試験）を導入、臨床実習における実践力の強化を図っています。



PICK UP

動きを科学の目で捉える 動作解析手法を学ぶ

理学療法学科では、バイコンと呼ばれる動作解析機装置を用いた歩行分析などの演習を行っています。東北大学で博士を取得した指導教員を中心に患者の動きを科学の目で捉える講義を実践しています。



ケーススタディ演習を通して 基本的臨床力を磨く

作業療法学科では、基礎作業学演習として、特定の疾患を想定した症例検討（ケーススタディ）を行います。演習を通して自律的学習や問題解決力、批判的思考を身につけ、基本的臨床力を高める教育を実践しています。



患者の心に寄り添える 言語聴覚士を育てる

沖縄県内唯一の言語聴覚士養成校として、即戦力となる ST を育成します。心に寄り添うことから言葉や食事、コミュニケーションの課題に向き合うことのできるセラピストの育成に日々取り組んでいます。



「身体活動を通して快を導く」 レクリエーションインストラクター取得

高齢者施設やデイケア、デイサービスでは利用者の日常的な活動を楽しむ維持向上することがとても重要です。介護福祉学科ではレクリエーション支援技法などの演習を取り入れ卒業と同時にレクリエーションインストラクター資格を取得できるカリキュラムを実践しています。



ICTを活用した学習環境へ

GIGAスクール構想に対応するおもと会のICT環境

- ✓ おもと会の GIGA スクール構想 iPadを活用し、学生ひとりひとりの学びに合わせた学習を提供します。
- ✓ おもと会の ICT 活用 情報収集や分析、写真・動画を活用した発表やリモート授業に対応しています。

無料配布!!

iPad を活用した電子教科書



いつでも、どこでも、
だれでも

iPadで関連項目を検索、ダウンロードができるから、あの重たい教科書から解放されます。



卒業後もずっと
ダウンロードした書籍
とiPadは実習中および卒業後も利用できます。返却の必要はありません。



リモート授業にも対応

コロナ禍で、登校ができなくなった場合においても学習を遅らせません。



離れていても繋がっている

離れていても、リアルタイムで学生と教員、双方向の意見交換が可能になります。

動画やVRを活用した



VRとは Virtual Realityの略であり、その場で実際に見て、聞いているような仮想体験ができる撮影方法です。



実習補完教材

おもと会グループのリハビリテーションスタッフと連携した独自のVR動画を制作。プロと同じ目線を体験できます。



自学自習

動画を繰り返し見る反復学習により、理解を深めます。



全館 Free wi-fi



office365 無償利用



本校は「学びを深化させる」

本学では Microsoft 社が教育機関に提供する「Office365 Education A1」を導入し、下記のような学習環境を実現します。



Microsoft Office
をブラウザで利用



資料の作製やプレゼンテーションに必要な WordやExcel、Power Pointなども無料で利用できます。



[teams]
コミュニケーションを
web上で



課題レポートをファイルでペーパーレスにやり取りできるだけでなく、フィードバックなども受けることが可能です。



クラウド上の
データをいつでも
何度でも閲覧可能

クラウドには個人用に1TBの超大容量の容量を確保しており、共有ファイルのシェア機能など、充実した環境が整っています。



学生個別に
メールアドレスを
発行



個別の端末を使用せずに教員とやりとりができます。



サイト上の
様々なアプリが利用
可能

サイトにログインすると様々なアプリが用意されており、必要に応じて自由に利用が可能です。



講義資料を
デジタル上で管理



科目別に保管したり、必要な講義資料を効率よく閲覧することができます。

おもと会グループだから実現する、

医療機関・介護施設とのネットワーク力

医療系総合学院

県内最大級の医療系総合学院

リハビリテーション・介護領域は、今や分野を問わず社会のニーズに柔軟に対応できる人材が必要となりつつあります。医療・保健・福祉の中核として、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護福祉士の職域は無限にその可能性があると確信しています。

本学には、大学院に進学し、博士の学位を取り大学で教鞭をとる卒業生や、デイサービス等を起業し福祉分野で活躍する卒業生、健康産業分野で活躍する卒業生も数多く輩出しています。リハビリテーションや介護に必要な基本的な知識と技術を学び、色々な職種と協働し新しい分野に挑戦したい若者が、一人でも多く本学の門をくぐることを期待しています。

理学療法学科

理学療法学科
昼間部
3年制 / 60名



作業療法学科

作業療法学科
昼間部
3年制 / 30名



言語聴覚学科

言語聴覚学科
昼間部
3年制 / 30名



介護福祉学科

介護福祉学科
昼間部
2年制 / 40名



沖縄
リハビリテーション
福祉学院

「すこやかな社会をつくる」おもと会グループとは

おもと会グループでは、医療・保健・介護のスペシャリストをはじめ、約2000人の職員が働いています。

21世紀の世界に誇れるモデル事業として医療・保健・福祉の総合一体化を実現し、地域社会に貢献します。

沖縄リハビリテーション福祉学院・沖縄看護専門学校をはじめ、おもと会の全組織をあげて、医療・保健・福祉の人材養成と生涯研修に貢献します。

医療／介護・福祉／保健

沖縄県内
全
50
施設以上
※2025年3月時点

在宅医療
グループホーム
外来／入院
小規模多機能型居宅介護
リハビリテーション
ケアハウス
デイサービス
健診ドック
通所リハビリテーション
※その他 施設多数

医療現場での
知識と経験
医療・看護・
福祉人の育成

教育機関

医療法人 おもと会
沖縄リハビリテーション福祉学院

学校法人 おもと会
沖縄看護専門学校

おもと会グループの歴史や施設など

おもと会グループについての
情報はこちらからもご覧いただけます



全国の医療機関との連携で 充実した実習環境を実現

医療人としての可能性を最大限に引き出し、
学生の就職満足度の高さを実現。

医療法人 おもと会
沖縄リハビリテーション福祉学院

中国・四国地方
CHUGOKU / SHIKOKU

九州
KYUSHU

中部地方
CHUBU

近畿地方
KINKI

関東地方
KANTO

沖縄から全国へ

沖縄県のみならず
日本全国に広がる
実習施設とのネットワーク

学外臨床・
臨地実習施設数

250
施設以上

呼吸器・感染症のエキスパート おもと会グループ特別顧問 就任

新型コロナウイルス感染症は社会にさまざまな影響や混乱をもたらしてきました。沖縄県専門家会議で座長を務め、出口対策に尽力した経験を活かして、日々変化する最新の感染対策について、教授します。本学院では、現在、社会で最も必要とされている、高いレベルの感染知識を有する人材の育成を図ります。

2022年3月末で琉球大学を定年退官し、同年4月よりおもと会グループ特別顧問に就任しました。私の略歴で分かるように、香川大学で17年間、および琉球大学で17年間、計34年間医学教育に携わってきました。今回、医療法人おもと会所属の沖縄リハビリテーション福祉学院と学校法人おもと会所属の沖縄看護専門学校との両方で講義を担当いたします。近年の医療はチーム医療であり、多くの職種の医療従事者が連携して患者さんの治療に当てる必要があります。両学校の学生さんが素晴らしい医療人になることを援助できるよう分かりやすい講義を心がけます。



Profile

1981年 岡山大学医学部卒業
1981年～1983年 国家公務員共済組合連合会虎の門病院内科 レジデント
1983年～1985年 国立がんセンター病院内科 レジデント
1985年～1987年 米国ネブラスカ医科大学呼吸器内科 留学
1987年～2005年 香川医科大学第一内科 助手、講師
2005年～2022年 琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学(第一内科)教授
2007年～2008年 琉球大学医学部 副学部長
2015年～2019年 琉球大学医学部附属病院 病院長(2期4年間)
2022年4月 琉球大学名誉教授、おもと会グループ特別顧問就任
主な賞/2018年度沖縄県医師会会長表彰
2021年度沖縄県医事功労者知事表彰

PT

Department of Physical Therapy

理学療法学科

理学療法を通して、身体に障がいを抱えた人の機能回復と社会生活への復帰を支援できる理学療法士を育成します。

理学療法士の仕事とは

理学療法士の仕事は、医療分野、地域福祉・保健分野のみならず、予防、スポーツ分野、特別支援教育、国際支援、再生医療、機器開発、研究分野など、様々な分野に広がりを見せています。医師や看護師、作業療法士、言語聴覚士、介護福祉士、保健師、行政の専門家とチームを組み、社会の中で、地域の中で日常生活や活動の基本となる「からだの動き」を取り戻す人生のサポーター。それが理学療法士の仕事です。

国家試験
合格率3年連続
達成

100%

2024 年度実績

卒業生の
就職率

100%

2024 年度実績

理学療法士
求人数

3,747 名

2024 年度実績

活躍するフィールド

理学療法士の仕事は、医療分野、地域福祉・保健分野のみならず、予防、スポーツ分野、特別支援教育、国際支援、再生医療、機器開発、研究分野など、様々な分野に広がりをみせています。

医療機関



- ・総合病院
- ・一般病院
- ・クリニック

行政機関



- ・保健センター
- ・福祉センター

地域社会



- ・リハビリテーションセンター
- ・訪問看護ステーション
- ・デイケアセンター

企業



- ・義肢装具
- ・機器開発

介護施設



- ・高齢者介護施設
- ・特別養護老人ホーム

教育機関



- ・教育／研究機関

進学



- ・大学編入
- ・大学院進学
- ・海外留学

トレーナー



- ・プロチーム契約
- ・企業チーム提携
- ・スポーツ関連施設

理学療法学科を
ムービーで紹介

損なわれた 「動作」を取り戻す

理学療法を通して、人を幸せにする力を身につけましょう。

理学療法士は、沢山のやりがいを実感できる仕事であると、自信を持ってお伝えします。対象者が自己実現にむかって目標を一つずつ超えていく「人の美しい姿」、目標を達成できた時の「驚きの表情」と「笑顔」を間近で感じることができます。

「人の喜び」を「自分の喜び」にできる素晴らしい職業であり、まさに「人の幸せに関わるプロフェッショナル」です。そんな理学療法士になるには簡単な事ではありませんが、現場経験が豊富で、修士・博士の学位を有する教員が、臨床に即した教育を行い、夢に向かう学生を熱心に理学療法士へと導きます。



学科長
砂川 昌信
Masanobu Sunagawa

入学から卒業までの流れ

運動機能と身体活動および
医学的知識と技術をしっかりと身につけ

人の“いたみ”がわかる 理学療法士を目指す！

理学療法士として働く上で大切な、専門知識・技術、幅広い教養、情報収集や情報活用能力を高めて解決能力を養う。また一般教養もしっかり学び、医療人として最も大切な高い倫理観を育み、人を想う気持ち、人の“いたみ”がわかる医療人を育成します。



教育の特長

現場経験が豊富なばかりでなく、修士・博士の学位を有する教員による臨床に即した教育を実践

本学では多くの教員が修士以上の学位を有し質の高い教育水準を維持しつつ、個性豊かで実践力の高い指導を行っています。また、補講の充実による学生の進捗に合わせた学修支援を行っています。

複数の教員やクラスメートとディスカッションすることで医療の現場に必要なコミュニケーション力と多角的な視点を養う現場実習指導者と連携した実習指導

科目によっては患者様を想定した課題を設定し、グループワークで解決をする問題解決型学習を行っています。複数の教員が参加し課題解決に向けて充分な支援を行うことで理学療法士として必要な知識の活用方法を身につけます。



実習指導者と連携しより臨床現場に近い環境で臨床力の習得を目指す

臨床現場では多くの疾患やさまざまな患者様に対応できるよう、考える力・判断力・柔軟性が求められます。実習に臨む前に、実習指導者を招き教員と指導者双方から指導を受け、臨床総合力を高めるよう取り組んでいます。



沖縄県内初理学療法士養成校として開校し34年。卒業生の現場の声を講義を通して教育に反映

2024年には沖縄県内に理学療法士養成校として開校し34年を迎えました。本学科では、理学療法の専門分野の第一線で活躍する多くの卒業生を非常勤講師として招聘し勤務する病院や施設での実践を紹介しています。



理学療法士の将来性

これからの理学療法士



1966年に日本で初めて理学療法士が誕生して58年の年月が経ち、現在、日本理学療法士協会の会員数は約13万人と年々増加し、需給バランスは整い始めていますが、少子高齢化の社会構造において、私たち理学療法士には医療機関や福祉施設をはじめ、様々なステージにおけるニーズが高まり、広まっていくことが期待されています。これまでの急性期・回復期を中心としたニーズに加えて、救急救命から在宅医療、そして災害医療など多岐にわたる領域にて、より専門性の高い理学療法士による貢献が求められています。特定の知識や技術を有した理学療法士の育成を確立し、チーム医療の充実を推進する取り組みが期待され、平成22年に認定理学療法士、平成25年に専門理学療法士の制度が導入されました。理学療法士の近未来は、医師や看護師において専門性の分化が進められてきたように、私たち理学療法士においても専門性の分化を推進していくと言われています。より高い専門性を有した理学療法士が各ステージにおいて必要とされる時代がもう目の前に来ています。

医療法人おもと会大浜第二病院事務部長 末吉 恒一郎 様



OT

Department of Occupational Therapy

作業療法学科

唯一無二の「作業の視点」で社会に貢献しています。

作業療法士の仕事とは

作業療法は作業を通し、ひとの健康と幸福の回復をめざす仕事です。「やりたいことができなくて困っている」ひとが作業療法の対象です。自分らしくいられる時間、活き活きとできる時間、心穏やかに過ごせる時間、日常の中にある当たり前の作業を心身両面と環境の視点からアプローチできる専門職です。

国家試験
合格率

89.6%

2024 年度実績

卒業生の
就職率

100%

2024 年度実績

作業療法士
求人数

4,896名

2024 年度実績

活躍するフィールド

作業療法士の活躍するフィールドは医療分野・地域福祉・保健分野のみならず、児童デイ、就労支援分野、特別支援教育、国際支援、事業所運営、機器開発、研究分野など、様々な分野に広がりを見せています。

医療機関



- ・総合病院
- ・一般病院
- ・精神科病院
- ・クリニック

行政機関



- ・保健所
- ・福祉センター

地域社会



- ・訪問リハビリ
- ・デイケアセンター
- ・地域包括支援センター

企業



- ・義肢装具
- ・機器開発
- ・事業所

介護施設



- ・高齢者介護施設
- ・介護老人保健／福祉施設

教育機関



- ・教育／研究機関

進学



- ・大学編入
- ・大学院進学
- ・海外留学

学校



- ・特別支援学校

作業療法学科を
ムービーで紹介



「作業」を通じた、 心身の維持・回復



対象者が自分らしさを取り戻した瞬間に立ち会える喜びは最高です。

作業療法士は、対象者の人生に向き合い伴走する仕事です。病気やケガで想い描いた人生でなくなってしまう時、身体とこころ、人生について一緒に考えていける知識や技術を持っています。他の職種にない「作業の視点」を活かし、対象者やご家族、他の専門職とともに力を合わせアプローチできる作業療法士は社会からも必要とされています。千差万別の人生やその人らしさに寄り添うためには、たくさんの学びと経験が必要です。本学科では、現場で働く多くの作業療法士の力もお借りし、臨床をイメージしながら目標に向かって成長できるようサポートしています。



学科長
吉岡 美和
Miwa Yoshioka

入学から卒業までの流れ

生活行為を支える知識と技術を
しっかりと身につけ、心に寄り添う
作業療法士を目指します。

人生に寄り添う 作業療法士を目指す！

医学の知識に加え、人生に寄り添う専門職として、作業の知識、コミュニケーション、自律性、想像力、実践力など豊かな人間性と専門性を育みます。



教育の特長

現場経験が豊富なばかりでなく、個性豊かな教員の専門性を活かしたユニークな教育を実践

本学科は、世界作業療法士連盟認定基準を満たしており、身障部門や精神部門において高い専門性を有し、個性豊かな教育を行っています。演習では学生の創作活動の指導を通じ、作業療法の魅力を伝えています。



病院や施設と連携し、早期からの見学やボランティア活動を通し多様な患者への対応力を促進

作業療法の現場では柔軟な社会力が求められます。本学科では、学内講義や演習に加え、「基礎ゼミナール」として早期から見学やボランティア経験を積み上げ、知識と技術と経験を高める教育を実践しています。



多様な職種との連携が求められる医療現場を模擬体験する他学科合同のワークショップの導入

本学科では4つの専門職種を目指す学生が、それぞれの専門分野について学ぶ県内唯一の専門学校。作業療法だけでなく臨床現場に必要なチーム医療の実際を体験するワークショップを4学科合同で取り組んでいます。



沖縄の伝統芸能を取り入れ、地元沖縄の作業の魅力を感じ、作業療法に役立てます

音楽やものづくりを通して、作業療法がひとの心や身体を動かし、社会の中での役割や自分らしさを再獲得する喜びについて学びます。



作業療法士の将来性

これからの作業療法士



作業療法士が誕生して50年以上経ちました。医療政策の変革、介護保険の導入、人口動態の変化などによって活躍の場は、医療、保健、福祉の領域のみならず教育、就労施設、行政など求められる役割は多様化し確実に職域を拡げています。特に近年では、発達障害分野における作業療法士の需要が増えつつあります。特別支援学校の先生方、児童発達支援施設の関係者と連携し、医学的観点からの助言・支援ができることは深い意義を持ち、子どもたちが身近な地域で共生できるように大きな役割を果たしています。「作業」とは、私たちが日頃行う日常生活（食事、入浴、排泄など）に加えて、家事、趣味、宗教活動など、それぞれ個人が必要な行為全てを指します。作業療法は、障害や不適応によって日常生活・社会生活に支障をきたしている方々に対し「作業」を利用して支援していきます。作業療法の定義のなかに「人は作業を通して健康や幸福になる」と記されています。私たちの生活には「作業」が溢れています。健康を増進させ、幸せな生活を推進するために、作業療法の活躍の場は増え続けていくことがうかがえます。



医療法人おもと会大浜第一病院 診療技術部長 リハ統括科長 下里 綱 様

ST

Department of Speech Language and Hearing Therapy

言語聴覚学科

「コミュニケーション」と「食べること」について幅広いフィールドで活躍できる人材を育成

言語聴覚士の仕事とは

言語聴覚療法には、ことばの遅れや失語症といったことばの障害に対する治療や聞こえ（聴覚機能）の障害に対する補聴器の指導、発音・発語の指導や、噛めない、飲み込めないことからくる摂食嚥下機能の改善などがあります。聞く、話す、食べる機能を取り戻す「言語聴覚療法」のスペシャリスト。それが、言語聴覚士です。

国家試験
合格率

90.9%

2024 年度実績

卒業生の
就職率

100%

2024 年度実績

言語聴覚士
求人数

1,567名

2024 年度実績

活躍するフィールド

言語聴覚士の仕事は、医療や福祉の分野のみならず、発達障害、特別支援教育、補聴器や意思伝達機器の開発や研究など、様々な分野で広がりを見せています。

医療機関



・大学病院
・総合病院
・リハビリ
テーション病院

行政機関



・保健センター
・福祉センター

地域社会



・リハビリテーションセンター
・訪問看護ステーション
・デイケアセンター

企業



・補聴器センター

介護施設



・介護老人保健施設
・障がい者支援施設
・訪問リハ

教育機関



・小中学校
・特別支援学校

進学



・大学編入
・大学院進学

こども分野



・保育園
・放課後等児童
デイサービス
・母子通園学級

言語聴覚学科を
ムービーで紹介「話す・聞く・食べる」の
スペシャリスト

担当した方本人やご家族に笑顔が見られた時に
大きな喜びを得られます。

話す、聞く、表現する、食べるなど誰でもごく自然に行なっていることが病気や事故、加齢などで不自由になることがあります。また生まれつきの障害で困っている方もいます。このような方々の社会復帰をお手伝いし、自分らしい生活ができるよう支援するのが言語聴覚士の仕事です。担当した方が人生を楽しんでいらっしゃる時、気持ち伝わって本人やご家族に笑顔が見られた時などに大きな喜びを得られる職種です。日々の講義や演習・実習を通して問題解決能力を向上させ、それを活かしてそれぞれのライフステージに合わせながら社会に貢献できる人となってほしいです。



学科長
長嶺 知里

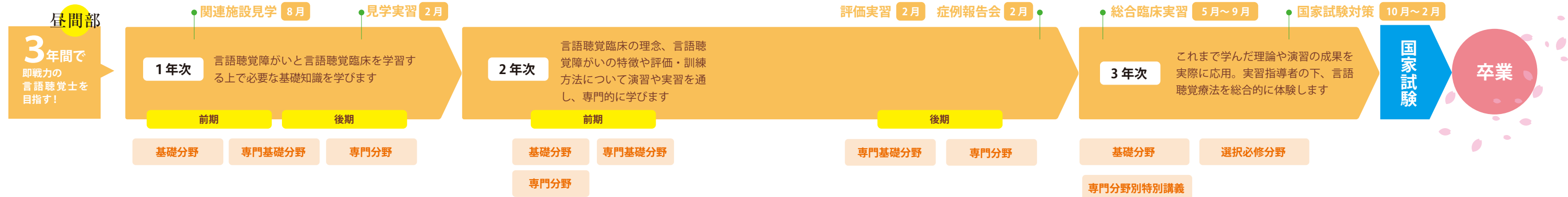
Chisato Nagamine

入学から卒業までの流れ

人とつながり、食を楽しむための知識と技術をしっかりと身につけ、“生きる”を支える言語聴覚士を目指します。

聴く・話す・食べるを守る 言語聴覚士を目指す！

言語聴覚士として働く上で大切な対象者に対する愛情を持ち、自ら思考し、自分自身で判断解決する力を養う。また、人として常に真理を追究し、かつリハビリテーションのチームの一員として周囲と協調する態度を育み“生きるを支える”医療人を目指します。



教育の特長

専門性豊かな教員に加え臨床で活躍する非常勤講師を招聘し、座学と臨床の両輪の教育を実践

本学科は、聴覚障がいや吃音、言葉の遅れ等に精通した教員による教育に加え、臨床ゼミを通し現場の言語聴覚士を非常勤講師として招聘し、最新の臨床について学ばせミスタイルのグループワークを実践しています。



入学前から入学後を通し、一貫した言語聴覚士としての人材育成と柔軟な話力を磨く教育を実践

入学前講座を通し、言語聴覚士に必要な知識に触れ、教員との交流を図るとともに、入学後も個々の学生に寄り添い勉学への支援や相手との関係を踏まえたコミュニケーション力を高める教育を実践しています。



多様な職種との連携が求められる医療現場を模擬体験する他学科合同のワークショップの導入

本学科では4つの専門職種を目指す学生が、それぞれの専門分野について学ぶ県内唯一の専門学校。言語聴覚療法だけでなく臨床現場に必要なチーム医療の実際を体験するワークショップを4学科合同で実施しています。



沖縄県内唯一の言語聴覚士養成施設に加え沖縄の伝統芸能を組み込んだユニークな実学を実践

本学科は、沖縄県でただ1つの言語聴覚士養成学科。本学科の特徴である、沖縄の伝統文化の空手と「しまくとぅば」を実学として学ぶことで、沖縄の心や言葉を臨床で活かす教育を実践しています。



CHECK

言語聴覚士の将来性

これからの言語聴覚士

言語聴覚士は、コミュニケーションが困難に陥っている患者さんに寄り添い、生きることの楽しさや喜びを取り戻してもらえようサポートします。言語聴覚士の有資格者は3万人。それでもまだまだ足りないのが現状であり、そのため言語聴覚士を求める病院は多く、就職率は高い傾向にあります。医療現場では「チーム医療」の重要性が指摘されており、医療従事者としての言語聴覚士が必要とされる時期に来ています。

子どもたちの健やかな成長のために 言語聴覚士のチカラが求められています

今、保育現場では、ことばの遅れや発音不明瞭、落ち着きがない等、発達や行動面に苦しさを持つお子さん、また育児に不安を抱える保護者が増加し、対応が求められています。これらのニーズに対し言語聴覚士のもつ専門性が必要とされています。当園では言語聴覚士を採用し、乳幼児の早い段階に保育園という生活の場で、言語聴覚士が子どもの育ちに関り、さらに保護者を支えることで、子ども達の健やかな成長・発達が促進できると期待しています。



社会福祉法人 金努福祉会 とよみ保育園 園長 金城 努 様



Department of Care Worker

介護福祉学科

豊富な実習と実戦型のカリキュラムで専門的な介護スキルを培い活躍し続ける介護福祉士になる

介護福祉士の仕事とは

介護福祉士の仕事は、病気やケガなどによって身の生活行為が自分で出来ない時や、お手伝いが必要な時、介護技術を活用し身の回りの世話やサポートを行います。時には、一緒に病院に出向き、医師に現状を伝えたり、役所での手続きや家族の介護に関する相談や助言を行うこともあります。いわば「生活支援の達人」それが、介護福祉士の仕事です。



※日本人学生合格率 100%
(受験生に外国人留学生 3 名含む)



活躍するフィールド

地域福祉を中心に、病院、診療所、デイケア、デイサービス、居住介護支援事業所、老人施設、や身体障害者施設、最近では災害支援などの領域などにもそそぎが広がり、社会基盤としての役割に期待が高まっています。

医療機関 ・総合病院 ・一般病院 ・診療所	地域社会 ・訪問介護サービス ・デイケア ・デイサービス	介護施設 ・高齢者介護施設 ・特別養護老人ホーム ・身体障害者施設	企業 ・デイサービス ・居宅介護支援事業所
行政機関 ・保健センター ・福祉センター	教育機関 ・介護人材養成施設 など	進学 ・大学・短大 ・リハ専門学校 ・看護専門学校	その他 ・介護用品開発 ・災害支援 など

介護福祉学科を
ムービーで紹介

様々な生き方と
「伴走」する



本当の「ありがとう」がもらえたときに
一番のやりがいを感じます。

介護福祉士の仕事は、一人ひとりの幸せな生活をサポートする「福祉」の専門職です。「目配り・気配り・心配り」。他者への気遣いや思いやり、相手に寄り添う最強のパートナーともいえるでしょう。人生最後の大舞台にたてるよう、その人なりの生活の場で一緒に考えながら支援していくことが、介護福祉士のやりがいのひとつです。これから先も日本社会において最も重要な職種の一つであり、国際的にも日本の介護は高い評価を得ています。本学院では、ノーリフトケアや ICT などを導入し、最先端の介護福祉教育を実践しております。介護福祉士は、本当の「ありがとう」がもらえる最高の仕事です。ぜひ、将来の介護リーダーをめざして一緒に学びませんか。

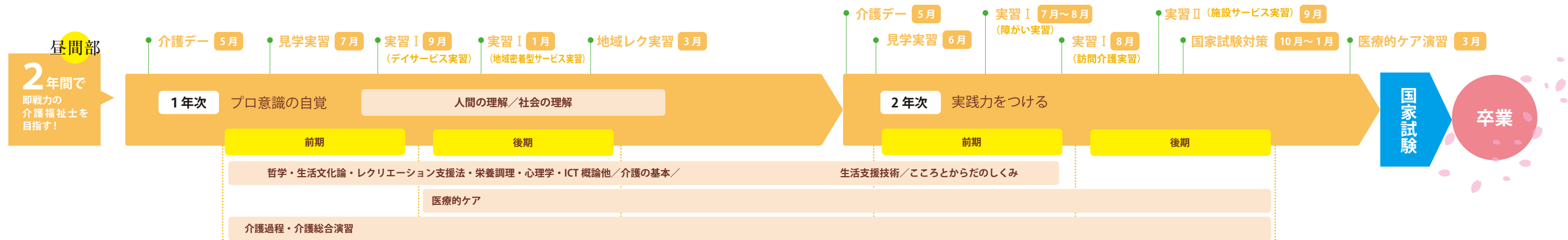
学科長
渡慶次 司
Tsukasa Takeshi

入学から卒業までの流れ

介護のプロとしての知識と技術を
しっかりと身につけ「生活支援の達人」として
即戦力の介護福祉士を目指します。

2年間で即戦力の 介護福祉士を目指す！

介護福祉士になるには実務経験や実務者研修（6ヶ月 450時間）を含めて最低でも3年以上かかりますが、本学では2年課程で介護福祉士の受験資格が取得できます。



教育の特長

専任教員・外来講師の半数を卒業生で構成し臨
床と座学のマッチングを図る教育を実践

学生の目線に立ち、社会で活躍し続ける介護福祉士として自立できるように、専任教員と外来講師の約半数を本学の卒業生で構成し、臨床と座学が一致するような指導を心がけています。

最新の ICT を活用した生活支援技術を学ぶ

ICT を利用した介護の最前線の学を通して生活支援のための介護の幅を広げ、多様なニーズに応える学びを実践しています。



多様な職種との連携が求められる医療現場を模
擬体験する他学科合同のワークショップの導入

本学は4つの専門職種を目指す学生が、それぞれの専門分野について学ぶ県内唯一の専門学校。介護福祉だけでなく臨床現場に必要なチーム医療の実際を体験するワークショップを4学科合同で取り組んでいます。



沖縄県内介護福祉士養成の老舗としての誇りと、
介護福祉士を目指す学びの実学を実践

沖縄県内における介護福祉士養成施設としての誇りだけでなく伝統にこだわらない新しい介護の形を目指す実学第一の教育を実践。さらに、2年生が1年生をサポートする「教え学ぶ」体制づくりに取り組んでいます。



ICT 教育の導入

これからの介護業界



介護現場では、業務の効率化やサービスの質の向上が強く求められており、その実現には ICT の導入と活用が不可欠です。国の施策としても介護分野における ICT 推進が加速する中、現場で ICT を活用できる人材の育成は、これからの介護を支える重要な鍵となっています。本学院では、実際に病院や介護施設での ICT 導入や運用に携わる講師が、現場で得た経験や活用事例を授業に反映しています。おもと会グループでは、介護記録の電子化や業務支援システム、様々な ICT を積極的に取り入れており、その知見を学生に直接伝えることができるのが本学院の大きな特長です。

おもと会 総括本部システム課 課長補佐 我如古 豊 様



介護福祉士への道

The Way of Care Worker



01 介護福祉士になるためには

介護福祉士になるには実務経験や実務者研修（6ヵ月 450 時間）を含めて最低でも3年以上かかりますが、2年課程で介護福祉士の資格が取得できます



02 介護・福祉の分野は 奨学金制度も充実しています

介護福祉士 修学資金等貸付

本学を卒業後、沖縄県内において介護業務に5年間継続して従事した場合には、借りた修学資金は返還免除になります（沖縄県内の過疎地域で介護業務に従事した場合は3年間で返還免除）。この制度を利用すると、月額5万円、入学準備金20万円、国家試験受験対策費用4万円、就職準備金20万円、総額168万円の貸付が受けられます。



おもと会 介護福祉士 奨学金貸付制度

対象者	沖縄リハビリテーション福祉学院 介護福祉学科 合格者ならびに学生で卒業後はおもと会において介護福祉士として業務に従事する者	貸与額	総額 1,578,000 円（2024 年度実績） （学費・諸経費 全額）
支給時期	入学前・前期3月末・後期9月末	その他	卒業後の勤務先はおもと会施設とし法人が決定します。また、就職支度金（15 万円）との併用はできません。
返還免除条件	卒業後、おもと会施設において介護業務に従事し、1年間貸与者は2年間、2年貸与者は3年間の就労で返済が免除されます。		

理想の介護福祉士を目指し 奨学金制度を活用して 最適な学習環境を整える

本学院では、経済的負担を軽減し、学業に専念できる支援システムとして、「沖縄県介護福祉士修学資金貸付制度」の他に本学院独自の「おもと会介護福祉士奨学金貸付制度」の利用が可能です。実際に、奨学金制度を利用している学生の思いと現状をお伝えします。

沖縄県介護福祉士修学資金等貸付制度を利用



介護福祉学科2年
城間 咲希 さん 【つくば開成国際高校 出身】

一番近くで生活を支えて 人を笑顔に出来るような人 になりたい

祖父が施設サービスを利用している時、私も一番近くで生活を支えて人を笑顔にできるような人になりたいと思い目指しました。国や年齢が違うクラスメイトだけど、みんな仲が良く、同じ目標に向かって日々勉強に取り組んでいます。先生方も、優しく丁寧に熱く教えてくれるので、とても分かりやすいです。

おもと会介護福祉士奨学金貸付制度を利用



介護福祉学科2年
喜納 優愛 さん 【中部商業高校 出身】

奨学金利用で安心して 学業に専念できます。

学校の雰囲気も良く、おもと会の奨学金もあるため経済的負担なく安心して学業に専念できています。利用者様の気持ちに寄り添い、利用者様やご家族に選ばれる介護福祉士になりたいです。

2024年度 沖縄県委託訓練で入学



介護福祉学科2年
末吉 ちあき さん 【中部商業高校出身】

将来は、笑顔で思いやりの ある介護福祉士になりたい。

授業料無料で学べる制度なので介護福祉士を取得したいと考えている社会人の方にオススメです。オキリハは、クラスメイトの一致団結感や先生方との距離感も近く接しやすいです。また、授業についても先生方は熱心に分かりやすく解説してくれるので、ついていきやすいです。将来は笑顔で思いやりのある介護福祉士になりたいです。

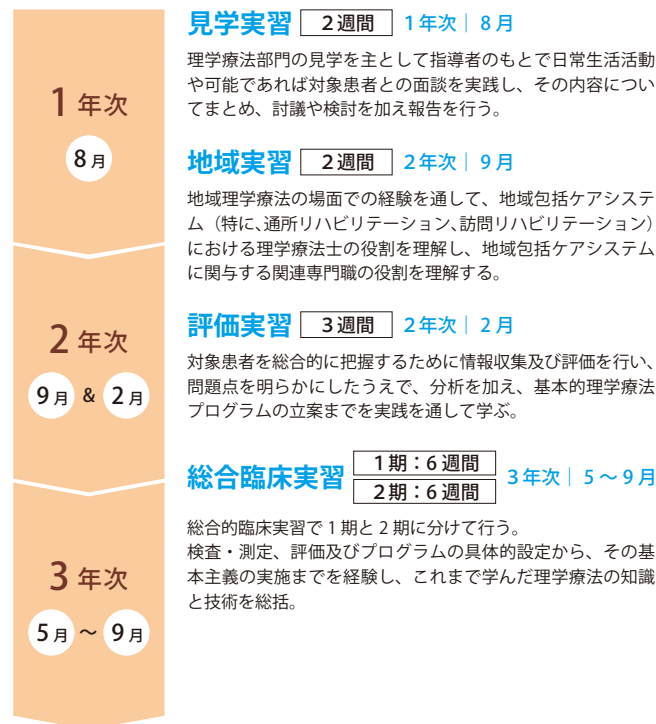
臨床実習

理学療法学科

学外の実習先でも臨床実習指導者と教員が連携して実習指導します

理学療法学科では、短期の実習を含め教員による実習施設への訪問回数を増やし、学生と対話、あるいは指導者と調整し、個々の学生に合わせて、臨床実習を通した学びを支援しています。また、県内・外の実習指導者と協同して臨床実習指導について考える勉強会を行い、卒前と卒後のシームレスな連携を図っています。

実習スケジュール

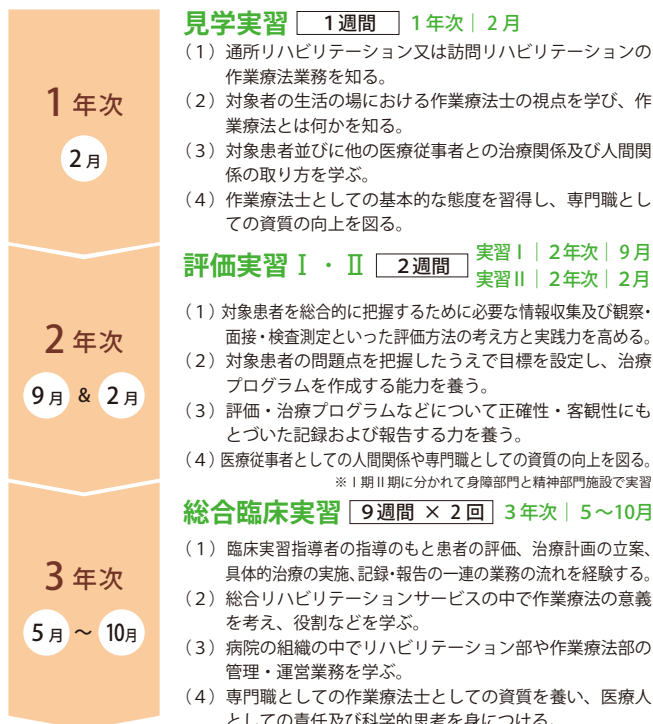


作業療法学科

作業療法分野の特性である身障部門と精神部門の2つの分野を経験する実習を実践しています

作業療法学科では、短期の実習を含め、病院やクリニックを中心とした身体障がい者に対する実習に加え、精神科における実習を行います。こころと身体への介入が可能なのは、そのノウハウをもつ作業療法士の大きな魅力です。実習では学生の学びを促すために、教員が実習訪問を行いながら実習指導者と連携し、実習指導を行います。

実習スケジュール

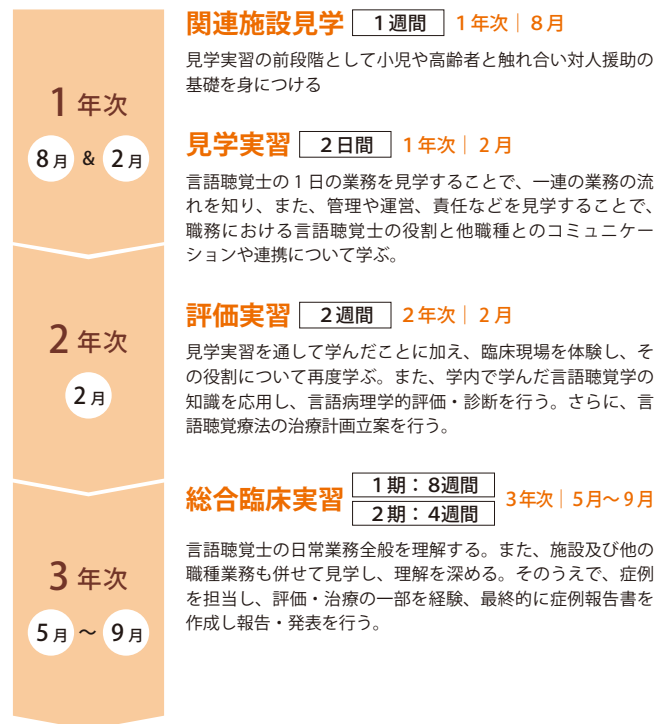


言語聴覚学科

言語聴覚学科の実習は3段階に分かれて、病院だけでなく、保育園、デイサービス（児童・成人）やことばの教室などでも実施しています

言語聴覚学科における実習の特徴は、子どもから高齢者まで幅広い領域で実施される点にあります。障がいの種類や程度に応じた、話す力・聞く力、食べる力や、飲み込む力など、人の最も重要な、コミュニケーションや飲食に関わるさまざまな問題について、臨床実習指導者と教員の連携による指導を受けながら、臨床現場の中で評価・治療を経験していきます。

実習スケジュール

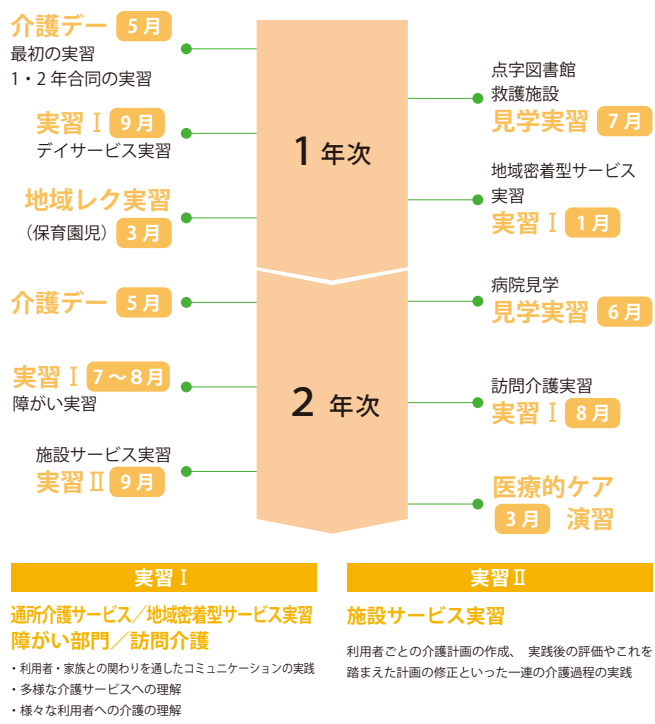


介護福祉学科

学外の実習先でも教員が直接指導します

学生が経験する初めての实習では、未熟な生活支援技術だけでなく、利用者との会話やコミュニケーションにも不安があります。本学科の介護実習では、お年寄りから子どもまでを対象とした、色々な施設での介護実習を通して生活支援技術を高めるとともに、教員が週1回は実習施設を巡回し、実習指導者との調整や学生を支援し、介護福祉士に必要な確かな技術の習得の促進を図ります。

実習スケジュール



実習体験後記

他職種連携の大切さを知りました。



宮城 琉斗 さん 糸満高校出身

学んだこととして、理学療法士としての責任、考え方が身につきました。また、他職種連携の大切さを知りました。そして、一日一日のレポート提出や患者さんとのコミュニケーションの仕方、接し方が難しいと感じました。患者さんとお話上手だねと言われたり、バイザーの方からお褒めの言葉を頂いた時に嬉しく感じました。

実習体験後記

その人らしく生活出来るように支える作業療法士としての在り方を実感



名嘉 彩乃 さん 浦添高校出身

実習を通して、相手の立場に立って物事を考えることの大切さを学び、患者様がその人らしく生活出来るように支える作業療法士としての在り方を実感することが出来ました。初めは、慣れない環境で患者様にどう接していいか迷いましたが、自分なりに工夫を重ねながら、少しずつ慣れていくことが出来ました。また、患者様からの励ましの言葉や感謝の言葉をいただいた時は心から嬉しく感じ、更に頑張ろうという気持ちに繋がりました。

実習体験後記

患者様とのやり取りが楽しい日々でした



上原 寛大 さん 那覇西高校出身

実習で学んだことは患者様に情報を伝える重要性です。STの先生方が患者様に検査やリハビリの目的を伝えた時に患者様の安心したような表情が印象的だったことを覚えています。治療効果がより良くなり、患者様との信頼関係にもつながります。大変だったことは学校で学んだことだけでは対応できない場面があったことです。嬉しかったことは患者様の方と仲良くなったことです。患者様とのやり取りが楽しく日々の実習がとても充実したものになります。

実習体験後記

利用者の立場に立ってどんな時でも笑顔で支えたい



フヤルビクラム さん ネパール出身

介護とは生き方と人生との関わり方を学ぶ仕事です。利用者の立場に立ってどんな時でも笑顔で支えて行く事を学びました。今回の実習で大変だったことはコミュニケーションをとることです。日本語がまだまだなので上手くコミュニケーションを図る事が出来なかった為日本語の勉強を頑張っていきたいと思います。

主な実習先

沖縄県内

・天久病院
・新垣病院
・浦添総合病院

・大浜第一病院
・大浜第二病院
・沖縄リハビリテーションセンター病院

・ちゅうざん病院
・大道中央病院
・琉球大学病院

・介護老人保健施設池田苑
・介護老人保健施設さのわんおもと園
・介護老人保健施設はまゆう

・特別養護老人ホームすみれ
・認知症対応型共同生活介護とことん

・ホームヘルパーステーションかみはら
・ホームヘルパーステーション寄宮

※その他 施設多数

沖縄県外

・海老名総合病院(神奈川)
・春日居サイバーナイフ・リハビリ病院(山梨)
・藤田医科大学病院(愛知)

・湯村温泉病院(山梨)
・星が浦病院(北海道)

※その他 施設多数

履修科目一覧

理学療法学科

(108単位／3,150時間)

基礎	科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解	総合国語/2単位/30時間 心理学/2単位/30時間 生物学/2単位/30時間 医学関連英語/2単位/30時間 情報処理/1単位/16時間 人間発達学/2単位/30時間 コミュニケーション論/2単位/30時間
	人体の構造と機能 及び心身の発達	解剖学/4単位/120時間 解剖学演習/1単位/30時間 生理学I/1単位/30時間 生理学II/1単位/30時間 生理学Ⅲ/1単位/30時間 生理学演習/1単位/30時間 運動学総論/2単位/46時間 運動学I/1単位/30時間 運動学II/1単位/30時間 専門基礎総論I/2単位/60時間
専門基礎	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	病理学/1単位/30時間 神経内科学/2単位/52時間 精神医学/2単位/60時間 一般臨床医学I/1単位/30時間 一般臨床医学II/1単位/16時間 救急救命法/1単位/24時間 整形外科学/2単位/46時間 小児科学/1単位/20時間 臨床心理学/1単位/30時間 医学特論/1単位/16時間 専門基礎総論II/2単位/60時間
	保健医療福祉と リハビリテーションの理念	リハビリテーション概論I/1単位/30時間 リハビリテーション概論II/1単位/30時間 リハビリテーション医学/1単位/30時間 社会福祉学/1単位/30時間
専門	基礎理学療法学	理学療法概論I/1単位/30時間 理学療法概論II/1単位/30時間 臨床運動学/1単位/30時間 理学療法特論/4単位/120時間
	理学療法管理学	理学療法管理学I/1単位/30時間 理学療法管理学II/1単位/30時間
	理学療法評価学	理学療法評価学I(総論)/1単位/30時間 理学療法評価学II(形態・ROM)/1単位/30時間 理学療法評価学Ⅲ(MMT)/1単位/30時間 理学療法評価学IV(整形外科的検査)/1単位/30時間 理学療法評価学V(神経学的検査)/1単位/30時間 理学療法評価学VI(内部障害検査)/1単位/30時間
	理学療法治療学	理学療法基礎治療学I/1単位/30時間 理学療法基礎治療学II/1単位/30時間 骨関節障害理学療法学I/1単位/30時間 骨関節障害理学療法学II/1単位/30時間 神経障害理学療法学I/1単位/30時間 神経障害理学療法学II/1単位/30時間 神経障害理学療法学Ⅲ/1単位/30時間 神経障害理学療法学IV/1単位/30時間 内部障害理学療法学I/1単位/30時間 内部障害理学療法学II/1単位/30時間 物理療法学/1単位/30時間 物理療法演習/1単位/30時間 義肢装具学総論/1単位/30時間 義肢装具学各論/1単位/30時間 日常生活活動I/1単位/30時間 日常生活活動II/1単位/30時間 触察法/1単位/30時間 理学療法研究法/2単位/60時間 臨床理学療法演習I/1単位/30時間 臨床理学療法演習II/1単位/30時間
	地域理学療法学	予防理学療法論/1単位/30時間 生活環境論/1単位/30時間 地域理学療法学I/1単位/30時間 地域理学療法学II/1単位/30時間
	臨床実習	見学実習/2単位/80時間 評価実習/4単位/160時間 総合臨床実習/13単位/520時間 地域実習/2単位/80時間

作業療法学科

(109単位／3,220時間)

基礎	科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解	総合国語/2単位/30時間 心理学/2単位/30時間 人体の科学/2単位/30時間 社会学/2単位/30時間 日常英語/2単位/30時間 医学関連英語/2単位/30時間 情報処理/1単位/16時間 コミュニケーション論/1単位/16時間
	人体の構造と機能 及び心身の発達	解剖学/4単位/120時間 解剖学演習/1単位/30時間 生理学I/1単位/30時間 生理学II/1単位/30時間 生理学Ⅲ/1単位/30時間 生理学演習/1単位/30時間 運動学I/1単位/30時間 運動学II/1単位/30時間 運動学Ⅲ/1単位/30時間 人間発達学/1単位/30時間
専門基礎	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	病理学/1単位/30時間 神経内科学/2単位/52時間 精神医学/2単位/60時間 一般臨床医学I/1単位/30時間 一般臨床医学II/1単位/16時間 整形外科学/2単位/46時間 小児科学/1単位/20時間 臨床心理学/1単位/30時間 医学特論/1単位/16時間 老年期障害の臨床医学/1単位/16時間 基礎科目ゼミナール/1単位/16時間
	保健医療福祉と リハビリテーションの理念	リハビリテーション概論I/1単位/30時間 リハビリテーション概論II/1単位/16時間 リハビリテーション医学/1単位/30時間 社会福祉学/1単位/30時間
専門	基礎作業療法学	基礎作業学I/1単位/30時間 基礎作業学II/1単位/30時間 基礎作業学Ⅲ/1単位/30時間 基礎作業学IV/1単位/30時間 作業療法特論/1単位/30時間
	作業療法管理学	作業療法概論/1単位/30時間 作業療法管理学/1単位/30時間
	作業療法評価学	作業療法評価I/1単位/30時間 作業療法評価II/1単位/30時間 作業療法評価Ⅲ/1単位/30時間 作業療法評価IV/1単位/30時間 作業療法評価V/1単位/30時間 作業療法評価VI/1単位/30時間
	作業療法治療学	身体障害の作業療法I/1単位/30時間 身体障害の作業療法II/1単位/30時間 身体障害の作業療法Ⅲ/1単位/30時間 身体障害の作業療法IV/1単位/30時間 身体障害の作業療法V/1単位/30時間 身体障害の作業療法VI/1単位/30時間 精神障害の作業療法I/1単位/30時間 精神障害の作業療法II/1単位/30時間 精神障害の作業療法Ⅲ/1単位/30時間 精神障害の作業療法IV/1単位/30時間 精神障害の作業療法V/1単位/30時間 発達障害の作業療法I/1単位/30時間 発達障害の作業療法II/1単位/30時間 老年期障害の作業療法/1単位/30時間 義肢装具学I/1単位/30時間 義肢装具学II/1単位/30時間 日常生活活動I/1単位/30時間 日常生活活動II/1単位/30時間 職業関連活動/1単位/30時間 作業療法治療学演習I/1単位/30時間 作業療法治療学演習II/1単位/30時間
	地域作業療法学	地域作業療法学I/1単位/30時間 地域作業療法学II/1単位/30時間 地域作業療法学Ⅲ/1単位/30時間 地域作業療法学IV/1単位/30時間
	臨床実習	見学実習/1単位/40時間 評価実習/4単位/160時間 総合臨床実習/21単位/840時間

2025年度 入学者情報

	理学療法学科	作業療法学科	言語聴覚学科	介護福祉学科
高校現役生	95%	84%	87%	18%
高校既卒生	5%	16%	13%	82%
平均年齢	18歳	20歳	20歳	29歳
最高年齢	25歳	46歳	48歳	52歳
男性	64%	32%	19%	29%
女性	36%	68%	81%	71%

言語聴覚学科

(108単位／3,132時間)

基礎	人文科学	心理学/1単位/30時間 死生学概論・障害者心理/1単位/30時間 国語I/1単位/30時間 国語II/1単位/30時間
	社会科学	地域福祉論/1単位/30時間 国際福祉論/1単位/30時間
	科学思考の基礎	生物学/1単位/30時間 統計学/1単位/30時間
	外国語	英語I/2単位/30時間 英語II/2単位/30時間
専門基礎	保健体育	保健体育I/1単位/30時間 保健体育II/1単位/30時間
	基礎医学	医学総論/1単位/30時間 解剖学/1単位/30時間 生理学/1単位/30時間 病理学/1単位/30時間
	臨床医学	内科学/1単位/30時間 小児科学/1単位/20時間 リハビリテーション医学/1単位/30時間 耳鼻咽喉科学/1単位/30時間 臨床神経学/1単位/30時間 精神医学/1単位/20時間 形成外科学/1単位/20時間
	臨床歯科学	臨床歯科学・口腔外科学/1単位/30時間
	音声・言語・聴覚医学	中枢神経機能学/1単位/30時間 音声言語医学/1単位/20時間 聴覚医学/1単位/20時間
	心理学	臨床心理学/1単位/30時間 生涯発達心理学I/1単位/30時間 生涯発達心理学II/1単位/30時間 学習心理学/1単位/20時間 認知心理学/1単位/30時間 心理測定法I/1単位/30時間 心理測定法II/1単位/30時間
	言語学	言語学I/1単位/30時間 言語学II/1単位/30時間
	音声学	音声学I/1単位/30時間 音声学II/1単位/30時間
	音響学	音響学/1単位/30時間 聴覚心理学/1単位/30時間
	言語発達学	言語発達学/1単位/30時間
専門	社会福祉・教育	リハビリテーション概論/1単位/30時間 保健医療福祉制度論/1単位/30時間
	言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害総論I/1単位/20時間 言語聴覚障害総論II/1単位/20時間 言語聴覚障害/2単位/60時間 言語聴覚障害診断学I/1単位/30時間 言語聴覚障害診断学II/2単位/60時間 言語聴覚障害各論/2単位/60時間 評価実習/2単位/80時間
	失語・高次脳機能障害	失語・高次脳機能障害I/2単位/60時間 失語・高次脳機能障害II/2単位/60時間 失語・高次脳機能障害Ⅲ/2単位/60時間
	言語発達障害学	言語発達障害I/1単位/20時間 言語発達障害II/1単位/30時間 言語発達障害Ⅲ/1単位/30時間 言語発達障害IV/1単位/30時間 言語発達障害V/1単位/20時間 言語発達障害VI/1単位/30時間
	発声発語・嚥下障害	音声障害/1単位/30時間 機能性構音障害/1単位/30時間 器質性構音障害/1単位/30時間 評価法/1単位/30時間 運動障害性構音障害I/1単位/30時間 運動障害性構音障害II/1単位/30時間 吃音/1単位/30時間 摂食・嚥下障害I/1単位/30時間 摂食・嚥下障害II/1単位/30時間
	聴覚障害学	成人聴覚障害/1単位/30時間 小児聴覚障害/2単位/60時間 聴覚障害疾患学/1単位/30時間 聴覚検査/1単位/20時間 聴覚検査演習/2単位/60時間 補聴器・人工内耳/1単位/30時間
選択必修		AAC/1単位/30時間 対人援助基礎演習/1単位/30時間 介護基礎学/1単位/30時間 地域言語文化特論/1単位/30時間 リハビリテーション関連法規/1単位/16時間 地域リハビリテーション/1単位/16時間 解剖学演習/1単位/16時間 研究法/2単位/50時間

介護福祉学科

(1,992時間)

人間と社会	人間の尊厳と自立/30時間 人間関係とコミュニケーションI・II/60時間 社会の理解/60時間 哲学・生活文化論・レクリエーション支援法・栄養調理・ICT概論・心理学/196時間(6科目合計)
介護	介護の基本/180時間 コミュニケーション技術/60時間 生活支援技術/300時間 介護過程/150時間 介護総合演習/120時間 介護実習/456時間
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解/60時間 認知症の理解/60時間 障害の理解/60時間 こころとからだのしくみ/120時間
医療的ケア	医療的ケア(基本研修)/80時間

主な出身高校（順不同）

浦添高校	向陽高校	中部農林高校	普天間高校	私立つくば開成国際高等学校
浦添商業高校	糸満高校	読谷高校	豊見城高校	私立仙台育英学園高等学校
沖縄工業高校	首里高校	那覇高校	北谷高校	高崎健康福祉大学高崎高校(群馬)
沖縄水産高校	首里東高校	那覇西高校	北中城高校	BIKING TECHNICAL VOCATIONAL HIGH SCHOOL(フィリピン)
嘉手納高校	小禄高校	那覇商業高校	北部農林高校	GREENFIELD NATIONAL SECONDARY SCHOOL(ネパール)
開邦高校	真和志高校	南風原高校	名護高校	JANA BHAWANA CAMPUS(ネパール)
宜野湾高校	西原高校	泊高校(午前部)	与勝高校	JOSE P LAUREL HIGH SCHOOL(フィリピン)
コザ高校	前原高校	泊高校(通信)	陽明高校	KAMARU DEVI SECONDARY SCHOOL(ネパール)
具志川高校	知念高校	八重山高校	私立沖縄尚学高校	SHREE BHADRAKALI SECONDARY SCHOOL(ネパール)
具志川商業高校	中部商業高校	美来工科高校	私立興南高校	THPT VU TIEN THAI BINH高校(ベトナム)
				TRIBHUVAN SECONDARY SCHOOL(ネパール)
				VISWA NIKETAN SECONDARY SCHOOL(ネパール)

在校生の声

#StudentVoice

一つ一つの知識が増えていくことがやりがいに

自身の怪我後のリハビリで理学療法士にお世話になったこと、姉が理学療法士を目指していて身近に感じたから理学療法士を目指しました。オキリハは校舎が明るくて勉強しやすく、先生方にも相談しやすい環境です。分からないことだらけでのスタートですが、楽しいことだらけです。一つ一つ知識が増えていくことがやりがいになりますし、身につけた知識が家族や友達の生活の助けにもなってます。また、学園祭などの色々な行事もあります。皆さんが来るのを楽しみに待っています。将来は、理学療法士として沖縄を支えていきたいです。

嶺井 琉輝 さん 豊見城高校出身【高校新卒入学】 Riku Minei

理学療法 学科



理学療法 学科



沖リハは、学生が安心して学び、自己成長ができる場所

理学療法学科を目指した理由は、スポーツ経験で培った理解や関心を活かし、患者様の生活をサポートできる点と、学院を訪問した際の対応が良かった点です。私には難聴があり、学院生活の不安を相談した際、教員から「遠慮せずに頼ってください」という温かい言葉をいただいたことで入学を決意しました。沖リハ学院は、学生が安心して学び、自己成長できる場所だと考えています。

八木 樹理亜 さん 名古屋国際高校出身【社会人入学】 Juria Yagi

患者さんと自分の個性を活かすことができる仕事

オープンキャンパスに実際参加してみて、とても楽しかったのと患者さんと自分の個性を活かすことが出来る職種だと言われ、とっても素敵なお仕事で作業療法士として働いてみたい!と思いこの学科を選びました。また、先輩方とお話する機会があり、先生方のサポートがとても厚く、勉強も頑張れていると教えて貰い、雰囲気も良いと感じ魅力的だったからです。学校全体の雰囲気はとっても明るくて、学科別に交流会なども多くあるのでとっても楽しいです。先生方もとっても優しく話しやすいです。

我那覇 梓月 さん コザ高校出身【高校新卒入学】 Shizuki Ganaha

作業療法 学科



作業療法 学科



“やりたい”を引き出し、“できる”に変えることが出来る作業療法ってカッコいい

病院で働いていた際に、脳梗塞の患者さんの“やりたい”作業が“できる”作業になった瞬間を目の当たりにしました。その方のリハビリに作業療法士が大きく関わっていた姿を普段から見ていたので患者さんの“やりたい”を引き出し、“できる”に変えることができる作業療法士ってカッコいいと憧れました。自分もこのような人になりたいと思い作業療法学科に入学することに決めました。先生と学生の距離がいい意味で近く、勉強やプライベートの話も相談できます。また、作業療法学科以外にも、理学療法、言語聴覚、介護福祉、看護などの将来連携する多職種の特徴を知ることができます。

仲村 実史 さん つくば開成国際高校出身【社会人入学】 Rio Nakamura

#StudentVoice



夢をかなえるために学んでいる在校生は、なぜ医療や福祉の道を選んだのでしょうか?入学前に考えていたことや、今の気持ちなどリアルな声を聞いてみました。

県内唯一の言語聴覚士養成校

家から近く、3年間通いやすいという点が魅力的でした。また、オキリハは県内で唯一の言語聴覚士養成校であり、この職業を目指す私にとって最適な環境だと感じました。また、「言語聴覚士」という名前自体に惹かれ、かついいと思ったのも大きなきっかけです。そして、オープンキャンパスに参加した際に、先生方の雰囲気がとても良く、温かい印象を受けたことで、本校で学びたいという思いが一層強まりました。これらの理由から、本校を目指すことを決めました。

喜納 沙彩 さん 知念高校出身【高校新卒入学】 Saaya Kina

言語聴覚 学科



言語聴覚 学科



父の病気がきっかけで言語聴覚士を目指しました

父の病気がきっかけで言語聴覚士の先生と出会いました。父のリハビリを言語聴覚士の先生が親身になってサポートして下さり、父の発話も流暢に出てくるようになり、父にも笑顔が戻りました。私も言語聴覚士になり言葉が思うように出てこないで困っている方の笑顔を取り戻すお手伝いがしたいと入学しました。オキリハの素晴らしいところは、教員のサポートが充実しているところです。先生方は皆さん優しく、明るくコミュニケーション能力が高い方ばかりなので、目指すべき言語聴覚士像をいつも目の前にしながら日々勉強に励める環境です。入学前は、子育てをしながらの勉強は可能なのかと不安でいっぱいでしたが、入学してみると、年齢層の幅広いクラスメイトと切磋琢磨しながら楽しく勉学に励んでいます。

溝上クレメンス晶子 さん 長崎県立佐世保中央高校出身【社会人入学】 Akiko Mizokami kremensu

利用者様やご家族に選ばれる介護福祉士に

学校の雰囲気も良くて、奨学金もあるため学業に専念できます。2年で専門知識や技術、実習では現場で沢山のことを学ぶことができ、先生方も優しく教えてくれるので授業も楽しく受けることが出来ます。利用者様の気持ちに寄り添い、利用者様やご家族に選ばれる介護福祉士になりたいです。

喜納 優愛 さん 中部商業高校出身【高校新卒入学】 Yuua Kina

介護福祉 学科



介護福祉 学科



入学する前の不安以上にとても充実した学生生活を送っています。

元々高齢者の方と関わる事が大好きで介護の道を目指しました。入学する前は、この歳から勉強を始める事の不安や、お金の不安、育児や家庭との両立が出来るかなど沢山の不安がありました。実際に入学すると勉強はとても楽しく、クラスメイトと切磋琢磨しながら共に支えあい、入学する前の不安以上にとても充実した学生生活を送らせて頂いています。又、先生とも距離が近く、分からない質問はすぐ聞く事ができます。時には優しく時には厳しい面もありますが、悩んだりした時などはいつも味方でいてくれます。事務の方達にもいつも優しくサポートして頂きとても明るい学院です。

上地 希 さん 八洲学園大学国際高校出身【社会人入学】 Nozomi Uechi

社会で輝き続ける卒業生たち

※掲載の情報は 2023 年 4 月現在です。

一番のやりがいは患者さまが笑顔で退院を迎える日

患者さまが無事笑顔で退院を迎える日は一番やりがいを感じます。「退院」に向けての道のりでは医師、看護師、社会福祉士など多職種連携が欠かせません。意見が対峙することもあります。その過程を経て迎える患者さまの退院の日は非常にやりがいを感じる瞬間です。学院生活は楽しいことばかりではなく、大きな壁にぶつかり理学療法士になることを諦めそうになることもあるかと思います。そんな時は級友を頼ると良いと思います。同じ夢を追いかける仲間となら切り抜けることができると思います。一緒に現場で働けることを楽しみにしています。

社会医療法人葦の会 オリブ山病院 | 理学療法士
喜友名 和 さん【沖縄尚学高校出身】 Wataru Kyuna



学生時代の経験は社会に出た後に必ずいきってくるので、楽しみながら自分らしく勉強してほしいです

リハビリテーション治療を通して患者様が自ら行えることが増え、笑顔で退院されたときにとてもやりがいを感じます。患者様本人やご家族様から「ありがとう。」や「あなたが担当で良かった。」などの言葉をいただくと、とても嬉しく、より患者様のために頑張りたいと思います。理学療法士は、自分の力次第で患者様を良くも悪くも出来る責任のある仕事だと考えています。だからこそ、とてもやりがいのある仕事です。学生時代の経験は社会に出た後に必ずいきってくるので、楽しみながら自分らしく勉強してほしいです。

医療法人ちゅうざん会ちゅうざん病院 | 理学療法士
友寄 理乃 さん【知念高校出身】 Rino Tomoyose

人は作業をすることで元気になれる

父親の影響から幼い頃から海外に興味があり、いつかは JICA ボランティア事業に参加したいと思い、臨床経験を積んで認定作業療法士を取得しました。現在は JICA 海外協力隊の作業療法士隊員としてドミニカ共和国に派遣されています。「何かを始めるにはしゃべるのをやめて行動しなければならない」。尊敬する恩師から教わったウォルトディズニーの言葉です。「やってみたい」その気持ちを人に話してみると、おのずと自分の周りには応援してくれる人が現れます。「人は作業をすることで元気になれる」。一緒に「作業」を楽しんでいきましょう。

JICA 海外協力隊 2023 年度 3 次隊(ドミニカ共和国)ドミニカ日系人協会 | 作業療法士(認定作業療法士)
徳里 尚美 さん【那覇西高校出身】 Naomi Tokuzato



常に自分自身を高めていきたい

私が所属しているのは、回復期リハ病棟です。集中的にリハを提供し、身体機能の回復を目指しています。作業療法では、身体機能の回復だけでなく、生活行為の獲得を目指し、たとえ障がいが残っても生活環境の工夫や社会サービスを導入して、その人らしい生活が送れるように援助しています。私は、勉強が苦手でできれば避けて通りたいと思っていましたが、作業療法士としての経験から自ら勉強したり、技術を磨いていく事を楽しく感じています。向上心があれば自分自身を高めていく事ができることも作業療法士の魅力の一つです。

医療法人おもと会 大浜第二病院 | 作業療法士
當間 亜妃 さん【浦添高校出身】 Aki Touma

For Future!

未来へ向けて

Webでもっと詳しく!

卒業生紹介特設ページ

本院の卒業生たちは様々なフィールドで活躍しています。安心して医療業界への一歩を踏み出す原動力になることを願い、卒業生たちの「今」を紹介します。

知識はすべて人の役に立ち、困っている方の助けに

言語聴覚士が取り扱う分野はとても幅広く、医療は日々進歩しています。そのため、資格取得後も勉強や技術講習などの自己研鑽を継続していかなければならないということがこの仕事の大変なところではあります。しかしながら、その知識はすべて人の役に立ち、困っている方の助けになります。退院される患者様から「ありがとう、お世話になりました。」という言葉をいただいた時に苦難がすべて報われます。人から感謝されることがこの仕事の一番のやりがいです。

沖縄リハビリテーション福祉学院 教員 | 言語聴覚士
新城 亮太 さん【八重山高校出身】 Ryouta Arashiro



患者様の生活が少しでも豊かになるように

私は耳鼻咽喉科で聴覚機能検査や平衡機能検査、補聴器適合検査などを行っています。大変な事は患者様に伝わるように検査説明をしたり、補聴器を患者様に合わせて調整することです。ですが、私が調整した補聴器を患者様が装着して「家族や友人の声が聞こえるようになった!」「テレビやラジオがよく聞こえるようになった!」と笑顔でお話しして頂いた時は今まで大変だった事などを忘れてしまう位やり甲斐を感じます。まだまだ分からない事やうまく行かないことも沢山ありますが、患者様の生活が少しでも豊かになるように日々精進しております。

沖縄県立中部病院 主事 | 言語聴覚士
平良 成希 さん【西原高校出身】 Naruki Taira

人としても成長を実感

学生時代で印象に残っていることは、施設実習です。実習指導者から「元気をもらうんじゃなく、元気をあげていくなだよ」と声をかけられ、実習生だからできる事を教えてもらったことが印象深いです。学院で学ぶことは知識や介護の基礎だけでなく、人としても成長させていただいたと感じています。長い実習期間や試験に向けても、同じ志を持った友達や先生方の指導があったからこそ乗り越えられたと思います。とても充実した2年間になると思うので、皆さんも頑張ってください。

社会福祉法人仁愛会 障害者支援施設 仁愛療護園
又吉 瞳 さん【コザ高校出身】 Hitomi Matayoshi



温かみのある介護福祉士を目指して

私が、大切にしていることは、入居様の立場に立って考えることです。何を行うと嬉しいのか、楽しいのか、どのような介助をすると快適なのか、何が正解で何が間違いなのか、考え悩むこともよくあります。改めて奥の深い仕事だと感じています。でも、自分の介助が正解なのかは利用者様の行動や言動、表情になって返ってくるのでダイレクトに嬉しさを感じられるのもやりがいの一つです。介護福祉士は、専門性の高い職業でこれからも必要とされる職業だと思います。これから介護福祉士を目指すみなさんにも間近で感動の瞬間を味わって欲しいです。

医療法人おもと会 特別養護老人ホームすみれ | 介護福祉士
玉城 厚樹 さん【南風原高校出身】 Atsuki Tamashiro

機能性と快適性を追求した、医療を

学ぶキャンパス

全館
Free WiFi
完備

エメラルドグリーンの中城湾を眼下に臨み、
緑豊かな公園を背景とした恵まれた環境

校舎6Fからの眺め

・日常動作訓練室
・日常生活活動訓練室

補装具室

基礎作業実習室

大講堂・体育館

三次元動作解析装置

実習室や設備も充実して
整っている学習環境は、
質の高い技術を
身につけることにも繋がります。

シールドルーム

教室

Library

勉強に最適な環境は集中力が違う！
学生の自己学習活動に最適な環境があります。

図書室

質の高い
ラーニングスポット

充実した自習スペースです。

多目的ホール

学習室

学生ホール

土・日・祝日も終日開放し、
学生の学習環境を整えています。

図書室の整備運営に関わる図書室職員の努力研鑽で質の高い図書室が保たれています。講義以外の時間でも自己学習によって、医療人として必要な専門知識を深めていくことは大変重要です。学習に集中できる環境が本学の魅力です。

CAMPUS LIFE

入学式に始まり、スポーツイベント・学園祭など、お楽しみもいろいろ。
普段はしっかり学んで、季節ごとの催し物をおもいきり楽しみましょう。



CAMPUS GUIDE

本学は、沖縄本島南部を周回する幹線道路、国道331号線沿い。沿線には大型ショッピングセンターが軒を連ね、ビーチや世界遺産など、見どころいろいろ。放課後のお楽しみもいろいろです。



イオン南風原店

衣食住、全て揃っているから
ショッピングも楽々



サザンプレックス

たまには気晴らしに
映画でも！



サンエー西原シティ

食事・ショッピング、何でも
OK！



ガスト佐敷店

たまには外食してみるのもいい
かも



ジェフ・TSUTAYA

ジェフで友人とおしゃべり！



きらきらビーチ

夏はビーチパーティーを
楽しもう！



ローソン

歩いて1分！お昼は近くの
ローソンが便利



サンエー板良敷店

ドラッグストアもあるから安心。
海が近いのでお昼も楽しめる！



各種サポート

SUPPORT SYSTEM

入学前から卒業後まで、学生一人ひとりの目標実現に向けて丁寧サポート

本学は、学生一人ひとりの目標実現に向けて、教育面、キャリア面、学費面について丁寧なサポートを行います



様々なバックアップで医療・福祉の専門職への道をサポート

01

教育サポート Support for Education

入学前には「入学前教育プログラム」を実施し、学習意欲を向上させます。また、在学中も親身に対応し、卒業後も聴講生制度や同窓会など様々な方法で卒業生をサポートします。

02

キャリアサポート Support for Career

徹底した個別指導で社会性やマナーを身につけます。また、各専門領域で活躍する卒業生や専門家を迎え、特別講義、臨床で活かせる資格取得サポートも行い卒業後のキャリアに繋がります。

03

学費サポート Support for Tuition

日本学生支援機構奨学金制度の手続きを担当職員が丁寧にサポートします。また、返還免除の奨学金や社会人対象の給付金制度も充実しており、安心して学業に専念できます。

01

教育サポート

SUPPORT

入学前の教育サポート

入学直後から「スムーズな学生生活を送る」ためのサポート

入学試験合格者には学生生活が円滑に進むよう「入学前スタートアップ講習会プログラム」を実施し、学習意欲を高めます。さらに「入学前交流会」を行うことで、入学前に仲間と出会い、学生生活がイメージできます。

入学前交流会

入学前にクラスメイトとの交流を深め、新しい環境に戸惑うことなく学院生活をスタートできるよう支援します。教員紹介、学院生活の紹介、新入生同士の親睦、在校生との交流、在校生による施設案内などを行います。



スタートアップ講習会

4月から始まる専門的な講義にスムーズになれてもらうための「スタートアップ講習会」を実施します。入学前の課題を通して楽しく医学用語を学びます。また実際に入学前に登校することで仲間や教員と顔が見れる関係づくりをします。



SUPPORT

在学中の学生サポート

学院でのサポート

入学から卒業まで同一の教員が担任として関わります。本人・保護者を交えての面談／成績、健康への相談対応、アドバイスをします。

おもと会グループでのサポート

「おもと会 こころと体のヘルスケアセンター」専門スタッフによるサポート。個人情報保護の厳守下において、学業面での成績、人間関係での悩み、健康面での悩み相談など無料で相談対応します。

SUPPORT

卒業後もサポート

聴講生制度

国家試験は年々難易度を増しています。本学は、常に全員合格を目標に国家試験対策に取り組んでいますが、合格できなかった場合でも、聴講生として、特別講義や集中講義、模擬試験など直前の国家試験対策への参加が可能です。受験料や実費負担額を除き、学費などの請求は一切ありません。

同窓会

本学には、同窓会があり、卒業生は、自主的に本学の施設設備を使用して、勉強会を実施しています。卒業後も本学を通しての縁を大切に、学びと交流の場となっています。

02

キャリアサポート

SUPPORT

徹底した個別指導

本学では、最終学年はもちろん、より早い段階からの就職サポートを行なっています。内外の専門講師によるマナー講座を実施し、社会人スキルを身につけることができます。また、臨床現場との連携により、業界情報や就職活動に役立つ最新情報を収集し、常時学生の相談に応じています。

個別相談

経験豊富な各領域の専任教員が個別相談を受けます。就職に関する相談はもちろん、将来に関する悩みにも丁寧に対応します。



就職指導

各学科の担任教員が面接練習や履歴書・エントリーシートの記入方法など、それぞれ学生一人ひとりに合ったきめ細やかな対応を行なっています。また、担当職員が求人窓口となり、学生に求人情報を提供します。



SUPPORT

学内就職説明会

毎年2回、県内・県外多くの病院・施設の皆様にご参加をいただき、学内での就職説明会を行なっています。介護・リハビリテーション専門職へのニーズは高く、また卒業生の活躍により参加施設数は年々増加しています。



SUPPORT

国家試験対策

年々難易度をます国家試験対策として、教員による特別講義や個別指導を実施し、サポートします。また、自主学習が行える環境を整え、全員国家試験合格を目指します。

徹底した模擬試験

早期から校内模擬試験に取り組み、最終学年までに3,000問以上の問題を解いていきます。さらに全国模擬試験で自身の得意・苦手分野を把握し、合格するための対処法を確立していきます。



特別講義

専任教員をはじめ、各専門領域で活躍する卒業生や、各専門分野の外部講師を招き特別講義を実施し、専門知識をより深めていきます。



自主学習環境

2号館学生ホールは平日夜22：00、土・日・祝日は17：30まで開放し、学生の自己学習の環境を確保しています。さらに国家試験直前は、教員による個別指導が受けられる環境を設けています。



SUPPORT

現場で活かせる資格の取得

教員による特別講義や個別指導を実施し、在学中に就職後のキャリアアップにつながる資格取得にトライすることができます。
また福祉住環境コーディネーターは希望すれば担当の教員が資格取得に向けた対応を行います。

福祉住環境コーディネーター

福祉住環境コーディネーターとは、高齢者や障がい者に対し、できるだけ自立し、いきいきと生活できる住環境を提供するアドバイザーです。
医療・福祉・建築について体系的に幅広い知識を身につけ、適切な住宅改修プランを提示することができます。



認知症サポーター

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を全国で養成し、認知症高齢者などにやさしい地域づくりに取り組んでいます。



03 学費サポート

様々な学費サポート制度

高等教育の修学支援制度

住民税非課税世帯に準ずる世帯の学生の皆さんは、給付型奨学金に加えて入学金・授業料が減免されます。この制度は、住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生を対象に、・入学金、授業料等の減免・給付型奨学金の支給の2つの支援により安心して学んでいただく制度です。独立行政法人日本学生支援機構の「進学資金シミュレーター」で学生自身や世帯の情報を入力することで、支援の対象となるかどうかを概算で知ることができます。

独立行政法人日本学生支援機構
「進学資金シミュレーター」



(例) 合計で年間最大120万円

2026 年度入学試験 再受験者受験料無料

2026年度入試を受験し、再受験する場合は、2度目以降の受験料を全額免除します

再受験の受験料が無料

大浜方栄 奨学金制度

1年間を通して学業に専念し、人物・学業成績共に優秀な学生(各クラス1名)に翌年1年間、月額2万円を支給します。返済義務はありません。

月額¥20,000
(年間¥240,000)

学生専用駐車場の 利用料全額無料

学生専用駐車場15ヶ所 約500台収容を完備し、無料で利用できます

駐車場使用料無料

再入学金免除制度

過去に本学に入学し、卒業した方が再度他職種を目指し、再入学する場合には入学金を全額免除します。また、やむを得ず中途退学され、再度本学に入学する方も対象になります。

再入学金全額免除

おもと会 介護福祉奨学金制度

沖縄リハビリテーション福祉学院で学び、卒業後、医療法人おもと会、社会福祉法人おもと会において、介護福祉士として介護業務に従事しようとする方に対して法人が奨学金を貸与します。
2年から3年間の就労で返済が免除される制度です。

入学金・授業料・諸経費など全額貸与
(総額 ¥1,548,000) (2024年実績)

沖縄県各市町村 高等職業訓練促進給付金

沖縄県では、母子家庭の母または父子家庭の父が看護師や介護福祉士などの資格取得のため、2年以上養成機関などで修業する場合に、修業期間の全期間について、生活の負担の軽減を図るため給付金が支給されます(入学前に要相談)

月額 ¥100,000
(課税世帯 ¥70,500)

教育訓練給付金制度

3年以上の勤務経験がある方へ

※当分の間、初めて支給を受けようとする方については2年以上あれば可

168万円 学費最大 70% (3年間) 支給されます

社会人の方必見 !!

沖リハは専門実践教育訓練給付金制度の認定校です！

専門実践教育訓練給付金制度とは、働く人の能力開発やキャリアアップを支援するため、厚生労働大臣が指定する教育訓練講座を自己負担で受講した方に対して、受講費用の一部(最大70%)を給付する制度です。一定の条件を満たす雇用保険の加入者が対象となります。

なお、失業状態にある方が初めて専門実践教育訓練(通信制、夜間制を除く)を受講する場合、受講開始時に45才未満であるなど一定の要件を満たせば、別途、教育訓練支援給付金が支給されます。詳細は、ハローワークでご確認ください。

本学は専門実践教育訓練給付金の支給対象となる厚生労働大臣指定講座がある認定校です。2018年1月1日からは、給付率もアップされ、受講者が支払った教育訓練経費の50%、さらに資格取得等をした場合は追加で20%、合計70%が支給されます。支給の上限額は年間で40万円、資格取得等した場合は56万円、合計額は、最大で168万円になります。
(※) 給付金の手続きは入学1ヶ月前の2月末までです

給付金 支給例



社会人入学 A さんの場合

教育訓練給付金

支払った入学金や授業料に対して給付金を給付

1 年次給付金	40 万円
2 年次給付金	40 万円
3 年次給付金	40 万円
卒業後	48 万円
合計	168 万円

支援給付金

雇用保険の基本手当の80%を給付

1 年次給付金	96 万円
2 年次給付金	96 万円
3 年次給付金	96 万円
合計	288 万円

※ 2026 年度入学生までの時限措置です(予定)

手続きの流れ

STEP. 1

所轄のハローワークへ

1. 受給資格の確認
2. キャリアコンサルティングの予約 & 受講
3. ジョブカードの発行を受けて1年以内の方が対象

STEP. 2

受講前の申請手続き

受講開始日(4月1日)の1ヶ月前の2月末までに申請手続きを行う。
2月までの入試合格が条件です
それ以降の入試を希望する場合は本校へお問い合わせください。

STEP. 3

本校へ入学

専門実践教育訓練給付金制度を受けるための注意事項などを学院の担当職員が説明します。

STEP. 4

支給の申請

6ヶ月毎に申請を行い、教育訓練中から支給を受けることができます。

STEP. 5

追加給付の支給申請

国家試験に合格し、かつ修了日の翌日から1年以内に一般被保険者としての雇用で就職した場合、教育訓練経費の20%にあたる追加給付を受けることができます。

お困りの際には、いつでもご相談ください

皆さんに合った、奨学金や給付金を一緒に考えていきます。
個別シミュレーションが可能ですのでお気軽にご相談ください。

学費サポートに関する
お問い合わせ先はこちら

098-946-1000



同じ夢を持った仲間と出会い共に支えあいながら、 私たちは切磋琢磨してきた。

卒業というこの日を迎えられて今、たしかに実感できること。

自分ひとりでは決して今日という日をむかえることはできなかった。

お父さん、お母さん、私を信じ、これまでずっと見守りたくさんの愛情で育ててくれて本当にありがとう。

「人として、医療・福祉人として」成長し続けます。

